

令和4年6月（第7回）光市教育委員会会議の要旨

1 開催日時

令和4年6月29日（水） 午後2時00分～午後4時20分

2 場 所

教育委員会事務局 1階ホール

3 出席者

伊藤教育長、河村委員、寺崎委員、平岡委員、武田委員

4 事務局

升教育部長、原田学校教育課長、門岡学校教育課主幹、国広文化・社会教育課長兼人権教育課長、三好体育課長、眞嶋図書館長、高橋学校給食センター所長、吉永教育総務課長、秋友教育総務課経理係長、清水教育総務課管理係長、加藤学校教育課指導係長、宮本学校教育課学務係長、西文化・社会教育課社会教育係長、植木文化・社会教育課文化振興係長、小田人権教育課人権教育係長、小田体育課体育係長、林図書館業務係長、坂野学校給食センター業務係長

5 教育長報告

- (1) 施設一体型小中一貫ひかり学園の新設に係る地域説明会について
- (2) 教育開発研究所の調査研究等について
- (3) 中学校部活動の地域移行について

6 議 事

(1) 議案及び報告

ア 議案第15号 光市コミュニティ・スクール推進事業交付金交付要綱の一部改正について

(ア) 概 要

光市コミュニティ・スクール推進事業交付金交付要綱の一部改正について、事務局より説明。

(イ) 内 容

交付金の限度額を7万円と定めている第3条を、市長が特に必要と認めるときは変更することができるとする条項に改正したことを報告するもの。

(ウ) 議 決

全員一致で承認される。

イ 報告第32号 光市青少年問題協議会委員の委嘱について

(ア) 概 要

光市青少年問題協議会委員の委嘱について、事務局より報告。

(イ) 内 容

概要のとおり。

ウ 報告第33号 光市青少年補導委員の委嘱について

(ア) 概 要

光市青少年補導委員の委嘱について、事務局より報告。

(イ) 内 容

概要のとおり。

エ 報告第34号 令和4年第4回光市議会定例会一般質問要旨について

(ア) 概 要

令和4年第4回光市議会定例会一般質問要旨について、教育長より報告。

(イ) 内 容

概要のとおり。

(ウ) 主な意見等

① 意 見

タブレット端末について、実際に使用した児童生徒たちの感想や意見はどのように把握し、反映していくのか。

回 答

子どもたちの生の声は、調査等では把握していないが、自発的に授業終わりに黒板をカメラで撮影し、次の授業のときに振り返りに活用する、または、先生が授業中にリアルタイムでタブレットに書き込むことで、子どもたちが持続的に集中して授業に取り組むことができる、などの効果が表れている。

他にも、タブレットを使用して自分の考えをまとめたものをお互いに見せ合い学習することで、伝え合う力や表現力、思考力を高めることに作用すると考える。

回 答

子どもたちの学びに向かう姿勢、態度がよい意味で明らかに変わっている。

子どもたちが主体的に学びに向かう力が求められている中、力とまではいかないものの、態度はしっかりと育まれている。

今後もタブレットというツールをしっかりと教育に活かしていきたい。

意 見

子どもたちの率直な意見をしっかりと取り入れていただきたい。

② 意 見

給食の材料費が保護者負担である中、材料価格の高騰に伴い何らかの対応が必要となるのでは。

今後、さらに材料費が高騰することがあれば、それをそのまま保護者に負担

させるのか。

回 答

材料価格の高騰に対しては、現在はメニューの工夫等で対応している状況だが、今後さらに価格の高騰が続くようであれば、国の補助金等の活用など様々な検討が必要となる。

いずれにしても、保護者負担を増やさないよう対応したいと考えている。

③ 意 見

部活動の地域移行やICTの活用などは、先生方の負担を減らすことを目的としているが、タブレットの導入は、先生方の得意、不得意もあり必ずしも効率化に繋がっていないのではないかと懸念している。

いい教育を提供するためには、現場で教える先生が、心身ともに健康でなければならない。

回 答

タブレット端末の導入は、働き方改革の面から言うと、会議資料のペーパーレス化やチャット機能の活用により、授業以外での負担が軽減されたという声を聞いている。

授業に関しては、使い方に慣れるまでは準備や教材開発に時間を要した面があるが、情報やノウハウの蓄積、あるいはそういったものの情報交換などにより、現在は事例の共有などができている。

また、教員間でのICTの活用状況の差を埋めるために、授業者用スタンダードを作成し、段階的にステップアップを図っている。

部活動に関しては、必ずしも教師自身が経験した部活を担当できるわけではないため、負担が大きいという声は以前からある。

地域移行については、子どもたちのスポーツや文化に触れる機会を担保しながら、先生方の働き方改革にも繋がるよう調査研究を進めていく。

意 見

タブレットとアナログを併用した授業の進め方なども検討いただき、しっかりと先生方のフォローをお願いしたい。

回 答

ICTを活用した業務改善は、教育開発研究所の研究テーマでもあるため、継続して研究していきたい。

また、HEAT（光市教育先端技術チーム）による現場の先生方のサポートシステムも構築している。

④ 意 見

ICTの導入時点で、子どもの視力や姿勢について学校教育の中で取り上げることで指導の機会が生まれるという話があった。

最近、子どもたちの近視が増えているという報道もあるので、引き続き教育の中でしっかり指導していただきたい。

回 答

子どもたちの健康を守りながら、適度な使い方を考えていきたい。

また、職員、保護者と使い方に関する情報共有を図り、ICTの有効活用に努めていく。

オ 報告第35号 区域外就学の承認について

(ア) 概要

区域外就学の承認について、事務局より説明。

(イ) 内容

区域外就学の協議及び申請のあった3件を承認したことについて報告するもの。